

事業の目的

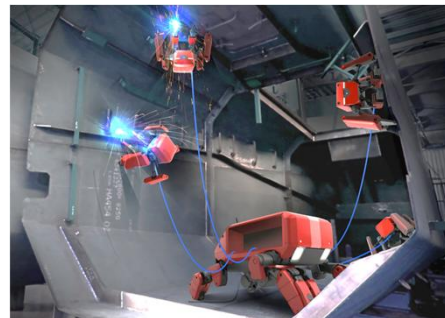
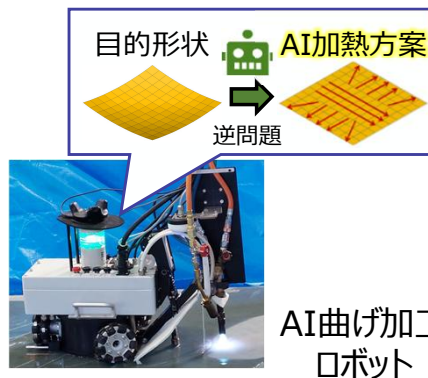
- 我が国の人口減少に伴い、造船業では若年層を中心とした**人手不足や熟練技能者の高齢化**が深刻化。また、船舶毎に設計仕様が異なるため、製造ラインによる大量生産ができず、**技術・技能の継承が難しい**という課題がある。
- このため、船舶建造の各工程において利用可能なAI造船ロボットや当該ロボットを最大限活用するために必要なAIシミュレーション基盤等を開発することにより、**抜本的な生産性の向上や高度な技術力の継承**を図り、**少ない人手による船舶の安定的な供給体制を構築**する。

事業内容

- 研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム（BRIDGE）の下で、以下の取組を実施する（委託）。
 - ✓ 船舶建造の各工程において利用可能な**AI造船ロボット**の開発
 - ✓ 当該ロボットを最大限活用するために必要な**AIシミュレーション基盤等**の開発

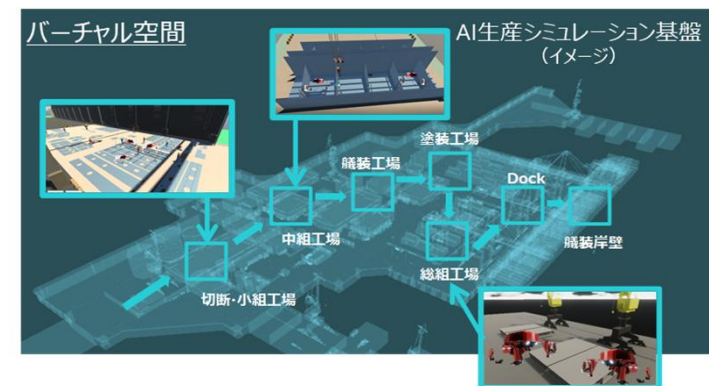
（例）

<AI造船ロボット>



曲げ加工・溶接等の建造工程について、AIを活用した強化学習等を踏まえ、耐久性に優れたAI曲げ加工ロボットやAI溶接ロボットを開発

<AIシミュレーション基盤>



ロボットの作業経路、干渉、センサー視界等を分析し、最適なロボットの行動計画を立案可能なAIシミュレーション基盤を開発

予算額

150億円（令和7年度補正予算）

実施期間

令和7年度～令和8年度（約1年間）

効果

・造船業の抜本的な生産性の向上 ・船舶の安定的な供給体制の構築 ・日米造船協力の推進